

令和7年度 恩納村博物館講座 「トウツルモドキでカゴ作り」開催のご案内

博物館では今年度も村内に自生するトウツルモドキという蔓(つる)性の植物を使ったカゴ作り講座を行います。講座では講師の方々の指導の下、材料を加工し、カゴを編んでいく一連の工程を実際に参加者に体験してもらい、カゴの完成を目指します。

使うほどに味わいを増し、大切に使えば一生ものと言われるご自身だけのカゴを作ってみませんか。

日時 11月22日(土)、23日(日) 9時30分～16時30分 **場所** 恩納村博物館 1階研修室

講師 木下 義宣 氏(山原ものづくり塾 塾頭)、ものづくり塾メンバー

対象 高校生以上の村内在住、在勤者で初めて受講する方(2日間参加できる方)

定員 10名 ※申込み多数の場合は抽選となります。

募集期間 11月1日(土)～13日(木) **申込方法** 申込みフォーム
※受講の可否については11月14日(金)までに博物館よりメールにて通知

参加費 1人50円(予定、2日間の保険料として)当日徴収します。

服装、持ち物 作業しやすい服装、軍手、マイナスドライバー、剪定ばさみ
昼食や飲み物も各自でご準備ください。※ナタは博物館で用意します。

申込み
フォーム



ひご作り作業



編み上げ作業



完成品

『広報おんな』2025年5月号(No.527)で「モンパノキに集まるツマムラサキマダラ」という話題を紹介しましたが、残念ながら、今年は鈴なりになるチョウの群れを見ることはできませんでした。

しかし、同じ深川橋そばのモンパノキ一帯では例年より多くのオオジョロウグモがクモの巣を張っているのが観察できました。

オオジョロウグモは奄美大島以南に生息する日本最大級のクモです。オスよりメスの方が大きく、体長(頭部から腹部の先端まで)は5cmほどになります。脚まで含めると20cmにもなります。それに対して、オスの体長は1cmほどしかありません。普段私たちがよく目にするオオジョロウグモは実はメスが大半なのです。

セミやチョウなどの昆虫を捕食しますが、これだけ大きいため、ごく稀に網にかかった小型の野鳥を捕食することも報告されています。また、体の各パーツが大きいのでクモの体のつくりを観察するのもにも向いています。見た目は少し怖いですが、人間に対してはほとんど無害なので、たまにはじっくり観察してみたいはいかがでしょうか。



オオジョロウグモのメス



オオジョロウグモの
糸いぼ(糸が出るところ)

お問い合わせ: 恩納村博物館 ☎982-5112